

《花卉オリジナル品種のバイテクによる増殖プロジェクト》

市町村	尾花沢市	対象地域	玉野地域	分野	園芸
実施主体名	高橋重光	代表者氏名		住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	尾花沢市
実施主体構成					

プロジェクト 目標（5年後）	産出額（増加額）	28,000千円（10,000千円）					
	独自の目標項目	バイオ技術による花き（りんどう）産出額（0本）→（16万本、10,000千円）					
各年次目標	現 状	1年目（H22）	2年目（H23）	3年目（H24）	4年目（H25）	最終年（H26）	
	産出額	18,000千円	18,000千円	18,000千円	20,500千円	25,500千円	28,000千円
	独自の 目標項目	バイオ技術による 花き（りんどう）の 出荷、産出額増加	バイオ増殖技術 導入	バイオ増殖技術 （8万株増殖、雇用 創出）	バイオ増殖技術 （4万本出荷、産出 額2,500千円、雇用 創出）	バイオ増殖 （12万本出荷、産出 額7,500千円、雇用 増大）	バイオ増殖 （16万本出荷、産出 額10,000千円、雇用 増大）
プロジェクト 概要	◎実施方針	オリジナルりんどう品種をバイオ技術により短期に増殖し栽培面積の拡大を図り、産出額の増大を図る。					
	○産出額の増大	オリジナルりんどう品種の短期増殖、栽培の増加により10,000千円の産出額を増大する。					
	○雇用の創出	りんどうのバイオ増殖技術の導入および栽培面積の増大に伴い雇用の創出を図る。 年間雇用創出効果：H22年 720日人/年 → H26年 1,005日人/年					
	○創意工夫	従来の種子繁殖や挿し木ではオリジナル品種の急速大量増殖が困難であるため、組織培養によるクローン増殖技術を導入し、産出額の増大、雇用創出を図り、併せて、新品種の開発にも活用していく。					
	○実現性	バイオ技術については、先進地である岩手県農業研究センターからこれまでも情報提供や指導を受けており、今後は山形県農業総合研究センター園芸試験場からも指導を仰ぎます。また新品種については、4品種（りんどう）の品種登録の実績のほか、数種類のオリジナルブランドを育種しております。					
	○地域への波及効果	申請者は山形県りんどう生産研究会の会長でもあり、バイオ技術による新品種の県内普及を目指したい。					
	○その他						

事業 計画		実施年度（平成22年度）	実施年度（平成 年度）
	事業内容	①バイテク室、②機材	